

広報



あぐね

第463号



60年

8月号

夏、男が燃えた

■ ペーロン競争

鹿児島県阿久根市鶴見町200番地

阿久根市役所編集発行——広報あぐね

置き場をつくって!!

阿久根駅・大川駅・牛之浜駅

市政モニターから「意見をいただきました」阿久根駅、牛之浜駅、大川駅には自転車置き場がなく、待合所や構内、駅の周辺に自転車、単車が放置してあります。盗難の防止、通学の安全、駅的美しさを保つうえからも市や駅が協力してちゃんとした自転車置き場をつくってほしい。」

現状で、とくに阿久根駅周辺は放置自転車が多いようです。市では放置自転車の解消を図るため、自転車置き場の設置に向けて作業に入りました。この問題を追ってみます。

250台が放置

阿久根駅

某日、朝六時三十分、阿久根駅。すでに駅前南側水飲場周辺に五十台、日本通運倉庫前歩道に四十台の自転車が停めてありました。通学のピークは、下りの電車が七時四分、上りが七時二十一分で、時間が近づいてくると高校生たちが駅に集まってきます。ほとんどが自転車通学生で、発車一十三分前に集中して多く、大いそぎで次から次に自転車を置いて駅に走っていきました。

電車が来たあとは二か所とも自

三つの駅とも

早い時期に設置へ

脇岡寅雄阿久根駅長は「駅構内

現在では黙認

転車でいっぱい、水飲場周辺に約百六十台が、国道の歩道に約九十台が停めてありました。大川駅は待合所の左右に約三千台、上り線のホームにぬけるトンネルの中に二十七台ほどが、牛之浜駅では、構内の広場に約三十台が停めてありました。



トンネルの中に停めてある……大川駅

への自転車、単車の駐車は原則として認めていないのですが、長年の慣例からか、あそこに置いていくのでしよう」と、仕方なさそう。建設省国道阿久根工事事務所でも「歩道に自転車をはみ出ているので、規制をしなくてはいけないのですが……」、駅前派出所も「取り締りをしなければ……」と、今はただ黙認しているというのが実情でした。

放置している高校生たちは「みんなが置いているので自分も停める」「駅に近い場所はここしかない」「置き場所がないので仕方がないのじゃ」と、悪びれた様子もなく語ってくれました。

誕生



出生児	保護者	区名
中野 大志	浩	(中村)
牧内 重季	克寛	(牧内)
松林 裕美	八男	(柙)
谷口真奈美	義美	(上森原)
春日あゆみ	秋雄	(大尾)
岩崎 洋平	大輔	(高之口)
遠矢 奈美	忠	(山馬場)
坂之下七栄	栄子	(大丸)
倉津 裕樹	義男	(大丸)
沖部 大使	正俊	(一段)
中西 善郎	良市	(牧内)
濱崎亜由美	熊一	(牛之浜)
園田 香織	研二	(山馬場)
笹原 綾二	豊	(桐野上)
宮原 美幸	洋美	(下村)
園田 健	直	(上原)
田上 佑美	文雄	(小瀬)
島崎 圭司	三司	(寺山)
新町 祐太	昭義	(新町)
萩原 礼香	博孝	(波留)
飯尾 芳寛	寛治	(上野)
丸子沙緒里	英男	(大丸)
高木 文也	則夫	(大丸)
尻無浜竜一	勝弘	(尻無下)
藤園 徹	重美	(馬見塚)

自転車



歩道にはみ出ている自転車……阿久根駅



水飲場周辺も自転車であっぴい

放していますが、利用はゼロで、ほとんどの高校生は、駐車場があることすら知りませんでした。

駅周辺は美しい環境に

阿久根駅は阿久根の顔であり玄関口、他の二つの駅も同じで、多くの方が行き交います。駅周辺にこのように自転車が放置してあれば見ぐるしく、気持ちのよいものではありません。歩道に停めてある自転車は通学、通勤の邪魔となり、交通事故発生の原因にもなりかねません。

これまでも、市民の方から放置自転車について意見が寄せられ、市でも早急な対応をせまられていたもので、さっそく放置自転車の解消を図るため、自転車置き場を設置するための作業に入りました。

用地を交渉中、市で建設へ

現在、国鉄に用地の借用を申請しているところで、市の要望にそって国鉄が用地の借用の承諾が得られれば、市の予算で自転車置き場を建設することになっています。

三つの駅のどこにどんな型の自転車置き場を建設するかについては、今、具体的な作業の段階ですが、諸手続きを終りたい、工事に

取りかかり、早い時期の完成を目指すことにしています。

これにより、三つの駅の放置自転車の問題は一応解消の方向に進むわけで、高校生、通学の子どもたちから喜ばれそうです。

ごめいふくをお祈りします

死者 年齢

貴島 明德	69 (波留)	敏守
尾塚 エツノ	75 (佐濁)	浩徳
高田 政吉	70 (牟田)	キヨ子
仲村 源七	84 (大丸)	清次
田上 キク	79 (樽)	重夫
井上セシミン	87 (新町)	内山博子
東 貞雄	59 (永田上)	浩一
濱嶋 モモヨ	87 (牟田)	義武
富吉 友親	75 (佐濁)	千鶴
川畑 夏義	78 (的場)	安則
小牟田 ソテ	92 (倉津)	仲三
濱嶋 タカ	71 (牟田)	永喜
赤 金七	77 (大林)	宗敦
野崎 政利	62 (波留)	ヤス子
松尾賢太郎	68 (上野)	愛子
平岡 フワイ	87 (長野)	正兼
野畑 真一	49 (浦)	ミネ子
吉川 澄治	81 (臨本浜)	タマエ
米次 フミ	68 (米次)	利則
尾上 エイ	87 (飛松)	九州男
倉津 進	57 (倉津)	勝則
宮原 常吉	83 (中村)	幸夫
川俣 實	82 (折口東)	廣
崎山 洋一	61 (本町)	田鶴子
落合 ユミ	86 (下村)	智
宮原 安生	54 (上原)	ユワノ
釜 キヨ	77 (瀬之下)	静悟
濱之下 松雄	75 (大谷)	シツエ
松木 末弘	66 (黒之上)	シズカ

座談会

おそれず前進を

漁業青年農業を語る

「ふるさとUターンへの道は」

農業シリーズ最終回

農業シリーズの最終回。若者が、後継者が働ける農業。進取の農業への道はないものか。違った角度から農業を見れば、また、何か新しい発想、企画も生まれてくるのじゃないだろうか。阿久根市漁協青年部の若者四人に、現在の阿久根市の農業について大いに語ってもらいました。

司会 本日はごろうさまです。水産業に関連している漁業青年から見た、阿久根市の農業と言うことで集まっていたきました。自分たちで農業をやっていないので難しい問題じやなかろうかと考えますが、しかし、おもしろい提言なども出てくると企画しましたのでよろしくお願ひいたします。

いま、日本の農業の中で食糧の自給率は約三三%を切り、残り六七%は輸入に頼っているという状況ですが、こう言うことをふまえて今の農業についてどう考えますか。

阿久根市の農業の現状についてはこれまでの広報で紹介しておりますので省かせていただきますが、いろんな面において厳しく、市でも活力のある、若者が、後継者が働ける農業をめざし、基盤の整備や生産性の高い作物の選定、農用地の高度利用など施策を進めていくところでは。

ま、こういうことを参考にしながら本日はさつくばらんに意見をを出していただきたいと思います。

出席者

阿久根市漁協青年部

小田原 操

新町利昭

倉津澄孝

和田兼一

司会

阿久根市農政課長

鶴蘭辰男

輸入自由化大変だと思ふ…小田原



小田原 操さん
35歳 挿受け網漁
「水揚げを増したい」

小田原 輸入自由化の問題なんかで農家の方が国に反対をされてい

る、輸入されれば作物が安くなる、自分たちの生活がかかっているの

地籍調査の

閲覧をします

市では、昭和五十九年度に実施しました大字大川、西目、山下地区の一部の地籍調査について、測量図と地籍簿案ができました。その閲覧を次のとおり実施いたします。

▼期間 九月二十五日から十月十四日まで

▼場所 市民会館七・八会議室

▼時間 午前九時から午後五時

▼持参するもの

印鑑、自分の所有する土地台帳。

※この期間外は閲覧、異議申し立ての申請もできません。

○該当字名

- (大字西目) 廻り道 下越シ迫
- 中越シ 論迫 上越 野中 飛松
- 新田 石灰山岡 堀崎岡 飛松湯
- 割石岡 堀屋岡 尾上塩入 吉原
- 尾上 金石 佛石迫 高石 平内
- 木佐木 松野家 上島ノ元 下島ノ元 大川島 牟田平 下山野田
- 毛ノ口 榎木 上山野田 馬見塚
- 松尾 北平 永尾 平床 白岩
- 中川原 伊比禮 杉ノ前 杉村
- 内平 波松
- (大字山下) 遠津洲 橋掛
- 屋根ヶ迫 大迫 桃ヶ迫
- (大字大川) 芳木ノ上 勘場
- ヶ元 半平 大川島 牟田平 野添
- 山ノ田 宮田 山畑 コノシ
- 小太郎山

失敗を



左から新町さん、和田さん、倉津さん、小田原さん、鶴岡課長

農協が機械を購入して

農家に借してやれば！

で大変だと思えますね。これからの阿久根市の農業ではグリーンピースとかタケノコなどの栽培がいい

んじゃないのですか。

和田 最近、ハウスを利用してグリーンピースの栽培とか、スイカ、ネットメロンなど盛んになってきているようですが、経費とか人件費にくわれるのではないですか。

新町 私の友人もハウスで一年中キヌウリとメロンをつくってひまがないと言っていますが、農家であればそれぐらいの施設をつくってやれば安定した生活が出来ると思うのですが。

から見た、阿久根市の農業と言う司会 ハウスを設置するには費用がかかりますが、県市の補助もあるようですし、作物の早期出荷、病虫害の防除の為によいと思えますね。

小田原 広報を読んでもあれば、基盤整備をしようとしても土地の協力をしてくれないということが書いてありましたが、本当に阿久根の農業を振興させるためにはもっと農家の協力も必要だと思えます。

農地の有効な活用を

倉津 土地を持っている人が遊ば

せておいて、他の人が借りてつくりたくても貸してくれない、農業をしたくても農業ができない人もいると聞きます。市の方でうまく調整して農業をしたい人に思い切り農業させてほしい。

和田 農家にも機械が入り、相当

小田原 農協が大きな組織なので、農協でいろんな機械を購入して、農家に借してやればいいの

楽になってきていると思えます。

新町 機械の借金返しに苦労していると聞きますが、共同で購入すれば負担が軽くなるのでは。

倉津 湯の元におぼさんがいますが、そこでは四人が共同でトラクターを買って、「今日は私が」

「明日ははんが」と言うふうに使っているという。今トラクターを買えば二百五十万もするといえ、しかし、年間使うのは二十日間ほどで、割りに合わないのじゃないかな。

じゃないか、農家の経費の節減にもなると思う。

もっと基盤整備を進めて……和田



和田 兼一さん
36歳 巻き網漁

「漁業に生命をかける」

和田 それと、トラクターが入れるような田んぼと畑が少ないと思うので、市では基盤整備をどんどん進めてください。

の農業には何が一番適していると考えます。

司会 漁業青年から見ても、阿久根

新町 タケノコなんかはどうでしょう、タケノコ山も多くありますし、阿久根のタケノコは実がし

まっとういとききます。中国からの輸入もあるようですが全然問題にならないそうですね。

小田原 高校生へのアンケートではポントンが多いようです。所得をあげるためにはいいと思います。大阪にいて、ポントンを送ると喜ばれる。しかし、大阪で買おうにもなく、阿久根から送っている、ミカンよりうまいのだからどこでもあるような販売ルートの開拓を市や農協がやってみてほしい。
倉津 グリンピースもいいと思つた。
司会 今、グリンピースの生産は阿久根が日本で一番です。

後継者について

司会 農業後継者の問題について意見をください。現在、年に二、三人が農業に従事しているところですが。

レクリエーションと飲ん方も

和田 魅力があるから後継者になるわけだから、これから農業をしようとする人に「こんなに魅力のある仕事はなか」と、いう印象を与える農業をやる必要があると思ふ。一年中仕事はつかしやつてい

ても誰れも農業をする人はいない、たまには旅行に行ったり、レクリエーションをしなければ。私たち

も飲ん方や、遊びがあるからキバツています。

所得が低ければ「やる気」はでない

—新町—



新町 利昭さん
33歳 捧受け網漁
「夫婦で漁に出たい」

新町 今から農業に取り組みとしても上の方の経営が良くなければ後継者はないと思ふ。今の市の農家の平均所得が五十二万円と出ていますが、これじゃやる気がならない、漁業も厳しいですが、年間三千万円以上上げる人もいます。司会 市内で一千万円以上あげている農家も数多くあります。若い人でもアメリカに留学したりして技術を学び、大規模な施設をつくって頑張っている人もいます。

漁師の場合もトップを追い越そうと事業投資するのですから。

「農業教室」をついたら —倉津—

水産教室からの

後継者も多い

和田 水産教室を卒業した人で漁業に従事している人は案外と多いんですよ。

新町 中学生高校生を対象に「阿久根の農業はこうです」「よその農業はこうです」と、教えてやる違った考えが出てくるし、農業に理解を示すかも。

小田原 十七、十八歳の生徒に農業について教えてもダメダと思ふ。進路が決っているから見向きもしない。



倉津 澄孝さん
35歳 捧受け網漁
「元気で今の仕事に頑張る」

倉津 一千万円以上の所得をあげる人が多く出てくれば後継者も出てくると思ふ。サラリーマンは一生働いても収入はしれている。その点からすれば農家もいいのじゃないかな。漁業では、市に後継者育成のための水産教室があります。農業にもこのような教室をつくってほしい。

学校給食でもっと米を食べさせて

小田原 農家の人に米をつくるなということはおかしい、魚取りにイワシを取るなどということと同じで、主食は米だから米はつくってほしいと思ふ。

新町 あれは作るな、これは作るなと園から言ってくるが、今から先は絶対食糧難の時代になり、つくれ、つくれとなってくるかも。和田 学校給食でパンを食わせるようになってから米づくりに影響が出はじめたのじゃないかと思ふ。米の需用を増すためにも学校給食を米飯にしたら。

研修費、貸付金の援助を

小田原 阿久根市の教育委員会で、もつと米をたべるよう指導してほしい。できれば昔の手弁当にすれば米と魚の需用も増えていいのですが。

倉津 米づくりがなくなったので後継者がいなくなったのじゃないかな。

司会 みなさん方は漁業の後継者、同じ働く仲間です。農業後継者の方に何か提言などありませんか。

小田原 4月クラブのメンバーの方をよく頑張っていると思うし、農業を真剣に考え明日の農業づくりに燃えています。農協、市でも無利子の後継者対策資金を貸して助けてやってもらいたい。技術を学びたいという人には研修もさせていたきたい、アメリカでも日本国内でも結構ですから。

新町 研修にいったら後継者同志が研修をし「あそこはこげんしと

つど」「こげな仕事があつ」とお互いに情報交換もして農業発展のため力を合わせて頑張ってもらいたい。

和田 同じ一次産業ですから死ぬまで一緒に頑張らましよう。

人並み以上の努力を



鶴 辰男さん
56歳 農政課長

「農家の皆さん頑張って下さい」

倉津 親からもらった土地があるわけですから失敗をおそれずに、もつと活用してやってみたら、人並みの仕事をしていけば人並みの仕事しか出来ないわけで、人より一歩進んだ農業、進取の気性で頑張ってもらいたい。

高校生のアンケート調査から 阿久根市に農業でしてほしいことは

栽培するよう指導してほしい。タバコの名産地にして「阿久根タバコ」として全国に売る。全国に名前が知れる作物をつくってほしい。中国、ソビエトの農業組織を

見習うべきだ。若者を都会に出させないよう対策を行うべきだ。一戸二戸の農業だけでなく、地区でこの時期にはこの作物を（土や気候が適したところにあわせて作

れからも漁業青年と農業青年が、たまには飲ん方しながら情報を交換し、魅力のある農業、魅力のある漁業づくりのために頑張る



畷型整備が進む桑原城地区

物)大量に生産する。安心して食べられる作物を指導して。遊んでいける土地を利用して、後継者育成のために利用して。産地即売をする。湖の荒地を利用して、レンコン、い草などを栽培する。月一回農業祭りをして。ぼんたんを外国に輸出する。農業をしている若者への嫁探しを市でする。近代農業の

いきましょう。市でも大いにバックアップしてもらいたい。

司会 活発なご意見を出していただきましてありがとうございます。出されましたことについては農業発展のため充分生かしていきたいと考えております。川畑市長が目指す「陸と海の調和のとれた活力あるまちづくり」ということです。漁業者だけがぶげん者にならないように、ひとつ手に手を取り合って活力のある農村漁村ができるようにお願いいたします。

△———△
農業シリーズが終了しました。この企画についてのご意見、ご要望をお待ちしています。広報係へお願いします。

経営方法を指導できる技術員の派遣。漁業のイメージから農業へのイメージに変える。阿久根の特産品を学校給食に取り入れる。阿久根に適した作物をもつと見つけてほしい。農機具は高いから集団で買って使う。



△かわい〜い

△子どもたちによる鼓笛ハレード



ハンヤ節おどりに 三千人参加

ハンヤ節おどり——五十七団体
三千百五十人。ペーロン競走——
最高におもしろい。カラオケのど
自慢——千人の観衆、大いに盛
り上がる……………
八月二日、三行われた今年の
夏まつり、新しい試みも次々と成
功、市民は踊って、歌って暑さを
ふき飛ばしました。



国道3号はハンヤ、ハンヤで埋まる

踊って歌った…… いい汗、夏まつり

写真特集

松元さんら27人 優良従業員として表彰

阿久根労働安全大会
地区

阿久根地区労働安全大会は七月
五日、市役所会議室に、阿久根市
東西長島町から八十人が参加。優
良従業員の表彰などが行われまし
た。

受表彰者は次の方々です(敬称略)

- 松元裕子 谷口ハナエ 牛ノ浜ミ
ソヨ 有田ヒサ子 鬼塚敏子 羽
田富子 岩崎光則 薬地トミエ
内園正昭 寺下玲子 花田清照
山口睦夫 福留利子 野崎キミノ
牛之浜忠 馬見塚優 西園麗子
新留道子 中村勝江 宮崎重夫
山元ヨシ 山口正成 西田良光
飛松仁古 下園マズ子 奥平洋一
畦浦義一

明るい選挙啓発ポスターの 作品を募集します

▽応募資格 小中高校生

▽締切り 九月十日まで

▽内容

明るい選挙をおしすすめること
を表すもの

応募方法を詳しくは市の選挙
管理委員会09967③1211

内341へ



祖先に感謝の 気持を

残暑厳しい折ですが、市民の皆さん、いかがお過ごしでしょうか。

先月の二十一日「海の仲間」

を記念して、子どもたち五十人以上の阿久根大島からの遠泳大会が開催されました。

私共の心配をよそに全員完泳の実績を挙げました。子どもたちにとっては、一生の良き思い出が出たこと、またあの三キロの海を泳いだという何ものにもかえがたい大きな自信は、これから先の人生の中で、必ず役立つものと思えます。ゴールする子どもたちを見て「子どもたちはしっかりしている」「さすが海の子ども」と、私は感激し、涙の出るほどうれしいことでした。海を持つ阿久根の

誇りであり幸せだと思います。

阿久根の先人たちが海で活躍し、荒波を乗り越え、南へ西へと開拓の精神、進取の気性で多くの実績を残してくれています。子どもたちの遠泳は、こうした海に生きた先人たちの気性をしっかりと受け取め、立派に引き継いでいると思えます。

旧暦のお盆も先般迎えました。また、この日は終戦の日でもあります。親や夫、子供、兄弟、家を失い多くの犠牲の中の終戦。

あれから四十年の夏を迎えました。今日まで歯をくいしばり生きてきた市民も多くあると思えます。今日の繁栄は、そして私たちが今日に生きる喜びを持てることは、これらの人たちの尊い生命のお陰であります。

この機会に祖先に感謝を表すとともに、後生のために立派な伝統を引き継ぎ、よりよい阿久根をつくるため、みんなで力を合わせて頑張っていきたいものだと思います。

阿久根市長 川畑 強



女子もチャレンジ、三尺棒踊り



2千人の人出、カラオケ大会

減額は生涯つづきます

国民年金の繰り上げ請求

国民年金の老齢年金と通算老齢年金は、六十五歳から支給されます。しかし年金を受ける条件を満たしていれば、六十歳から六十四歳までの間なら、いつでも希望するときに繰り上げて支給を受けられます。

ただし、その年金額は、四二%から十一%も減額されます。また、いったん繰り上げ支給を受けるとこの減額は生涯続き、取り消されることはありません。繰り上げ請求するときは、よく考えてみてください。

一方、事前に申請して、六十五歳から年金を受けずに、六十六歳から七十歳までの間に受け始めると、年金額が一%から八%も増額される、繰り下げ支給という制度もあります。

寺地さんに

法務省から感謝状

人権擁護委員の寺地伊佐夫さんに、このほど法務省人権擁護局長感謝状が贈られました。

長年、人権擁護委員としての功績が認められたものです。



炎天下操法競技に頑張る分団員

汗ダクで競技…消防ポンプ操法大会 大川(自動車)、桑原城(小型) 分団が優勝

昭和六十年年度の消防ポンプ操法大会は七月二十一日、市役所南側駐車場に、自動車ポンプ五、小型ポンプ二十が参加して行われました。

競技は、ホース延長操作、収納操作の所要時間について減点計算方式で採点されました。

参加した各分団の選手は汗びっしょりになりながらもキビキビした操作を披露していました。

成績は次のとおりです。

▽自動車ポンプの部
優勝 大川分団 二位 中央第二分団
▽小型ポンプの部
優勝 桑原城分団 二位 牛之浜分団 三位 多田分団 四位 赤瀬川分団 五位 尾崎分団

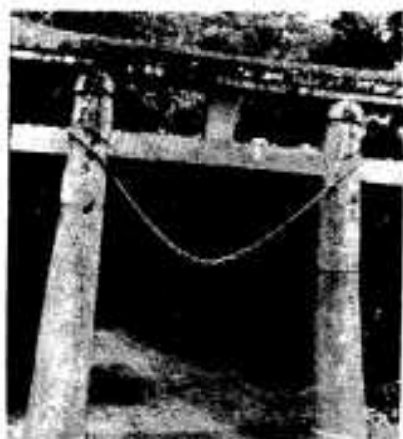
あなたの医療費です …… 昭和59年度分

市内区の昭和五十九年度医療費(国民健康保険)が、出ました。区民の皆さん、参考にしてください。

なお、校区ごとにおいて順次紹介します。

● 医療費の中には老人保健医療費 $\frac{10億3,145万円}{2,651人}$ - 38万9千円は含まれません。

区名	国保世帯	被保険者数	受診件数	医療費合計(円)	世帯当医療費(円)	世帯当保険税(円)
鴻	200	493	2,553	42,838,290	214,191	94,322
大丸	300	813	4,172	54,002,670	180,009	131,317
倉津	110	431	1,834	39,686,430	360,786	116,248
遠見ヶ岡	19	54	250	7,087,980	373,052	124,816
波留	253	617	2,617	39,992,170	158,072	97,228
町	145	397	2,048	32,821,920	226,358	107,670
高松	122	317	1,415	24,863,700	203,801	92,373
浜	111	284	1,264	22,520,060	202,883	88,055
上野	244	582	2,632	45,105,090	184,857	92,123
新町	297	729	3,644	67,393,950	226,916	101,066
寺山	42	130	667	12,372,860	294,592	109,303
段	160	380	1,752	31,066,990	194,169	92,284
大尾	86	240	920	16,610,490	193,145	91,840
中村	110	289	1,220	23,124,350	210,221	116,454
浦	81	222	1,067	12,451,680	153,724	113,875
牧内	53	139	492	7,417,740	139,957	69,716
東牧内	11	35	179	1,413,440	128,495	91,405



南方神社の石鳥居



天狗山の磨崖仏



空順法印像

市指定文化財に追加 南方神社の「石鳥居」など三点

阿久根市教育委員会では、市指定文化財に波留区南方神社入口の、「石鳥居」、馬見塚区天狗山の「磨崖仏」、中央公園の「空順法印像」の三つを指定しました。

石鳥居は今から約二百年前（一六八五）焼酎造りに生命をかけた折口伊兵衛が成功のお礼に建立したもので、磨崖仏は、約三百六十六年前に刻みこまれたと思われる梵字による磨崖仏で、天狗山の岩壁に隣接した高さ四尺の石柱の上部に刻んである。

空順法印像は二百四十七年前（元文三年）建立されたもので、阿久根を大火から救った恩に報いるため町と浜の人たちによって建てられたもの。

今回の指定により、市指定文化財は、八郷のへご、臨本古墳群、沼田文書、臨本家跡と新しく三つを加え八つとなりました。

8月23日(金) 少年少女弁論大会

大川小体育館

市内小・中学校代表者による弁論大会が今年も次のとおり行われます。子どもたちが元気に自分の主張を発表します。

▼期日 八月二十二日(金)
▼場所 大川小学校体育館
▼時間 午前九時二十五分から十二時まで

市民の皆さん、子どもたちの弁論を聞きにきてください。

いじめ、非行、暴力 など相談を!!

③1211
内線3152へ

教育委員会に設置

子どもの教育上の問題で困っている人、悩んでいる人がありまして迅速なくご相談ください。

▼電話 09967
③1211
内線312と315

交通事故相談日

九月十三日(金)

市民相談室

阿久根市教育委員会では、いじめや暴力、非行などについて電話による教育相談の窓口を設置いたしました。

回答

訪問販売等に関する法律では、注文もしないのに商品が送付された場合、送付のあった日から数えて三か月（販売業者に商品を引き取るよう告げた場合は、その日から一か月）経過しても販売業者が引き取らない場合は、その商品を引き取らない場合は、その商品を引き取らぬこととされています。

消費者の 質問箱

（相談内容）
一方的に商品が送られてくる

14

申し込みもしないのに突然、雑誌が送られてきて、代金を請求された。購読の申し込みをしたことではないが、どうすればよいか。

訪問販売等に関する法律では、注文もしないのに商品が送付された場合、送付のあった日から数えて三か月（販売業者に商品を引き取るよう告げた場合は、その日から一か月）経過しても販売業者が引き取らない場合は、その商品を引き取らぬこととされています。

ですから購入の意思がなければ、代金を支払うことはもちろん、返送する必要もありません。

しかし、この三か月（商品の引き取り請求をした場合は一か月）の期間内に商品を使用したり消費した場合は、購入する意思があったとみなされ、代金を支払わなければならぬとなりますので気をつけましょう。購入する意思がなければ、期間が過ぎるまで、そのまま保管しておくことです。

9月1日
阿久根内科 ②0578(新町)
田中外科医院 ③0553(大丸)
平 医院 ⑤2626(古里)

9月8日
有村内産婦人科 ③4180(上野)
内山病院 ③1551(高松)
石原医院 ⑤0045(橋之東)

9月15日(敬老の日)
上園医院 ③1055(本町)
喜多医院 ②0038(大丸)
藤本病院 ⑤2101(橋之西)

9月16日(振替休日)
堀切産婦人科 ②0263(高松)
北園医院 ②0016(本町)
浜之下医院 ⑤2600(馬場)

9月22日
大塚眼科 ②0306(浜町)
林胃腸科外科 ③3639(大丸)
黒木外科 ⑤0200(下村)

コートで一緒に汗を流しませんか

阿久根市 硬式テニス協会

市硬式テニス協会は、昭和五十一年サンデーテニスクラブとして発足し現在会員十五人、北園病院長を会長としてテニスに励んでおります。

練習要項は、土・日は午後総合グラウンドテニスコートで、火曜は夜七時から九時迄、阿久根農高体育館で練習をしています。

硬式テニスの特徴は、比較的年令に関係なく、それなりの練習が出来、また運動量も多く自分の体

調に合わせて調節が出来ることで運動不足の人、やせたい人に最適なスポーツです。会では初心者にもラケットの握り方から指導を行っており、誰れでも受け入れ、仲間として仲良く練習をして来ております。用具としては、ラケット、テニスシューズですが、取合えずラケットは会員の手持ちをお貸し

します。シューズだけはいて体育の服装でコートに気軽にお出かけ下さい。

友だちの作品

■西目小学校



詳細は、三二一九六六(北園へ)問合せ下さい。

どうですか皆さん、コートと一緒に汗を流してみませんか。

サークル紹介 ②②

阿久根歌壇

折田憲司選

(秀逸) 梅雨あけて雲湧きあが
る空のした白蘭の花たかだか
く 大丸町 橋崎 幸 父の忌にうから集ひて在りし日の
きびしさ語る子等みな老いて
きびしさを思ふ
童顔の修業僧に会ひしかば旅の永
平寺に遠き子を思ふ
本町 河南 節子
赤瀬川 海平 三蔵 老い母は古き浴衣を自らの襦袢に
せんと幾度も縫ふ

脇本 赤崎 タエ
遠き日に夫逝かしめし悲しみを慰
めくれし子のハローモニカ
脇本 宮原 範子
雨はれてわが庭に咲く浜木綿の花
の眩しさ窓あけ見れば
桐野 竹原キミエ
待ちわびし深夜庭下に聞こえる
太き産声男子なるべし
琴平町 川畑 スミ



夏草
西目四年中野幸子

水玉
西目三年高口えり子

つゆ
一ねんともこ

図書館だより

今月の新着図書



としよかんだより

- ▽書懸(井上光晴著)▽ふじやまげいしや(池田潤寿夫著)▽メロドラマ(村松友規著)▽決闘の辻(藤沢周平著)▽闇と力女秘帖(多岐川恭著)▽女ひとり北極点に立つ(和泉雅子著)▽きみが輝くとさ(松山善三 田中館情彦共著)▽白夜の女騎士(野田秀樹著)▽宗教と文学の谷間で(遠藤周作著)▽炎のあとに、君よ(早乙女勝元著)▽私本歳時記(山口暁著)▽これからの出来事(星新一著)▽悲しすぎて笑う(森崎和江著)▽踊る銀河の夜(丸山健一著)▽女の中年から(田辺聖子著)▽おぼあちやんのユタ日報(上坂冬子著)▽百人の男(山口洋子著)▽無頼殿、極北光に消ゆ(西村寿行著)▽戦争と真伝(山本明著)▽挑戦冬の狼(北方謙三著)▽バラの木にバラの花咲く(佐藤愛子著)▽取巻の秋(三木卓著)

ふるさとの
きとの

ばあちゃん
じいちゃん



市内折口東一別府一秀義さん(70)
「まだまだ元気ですよ」

あくねのみんな

43

大丸区 草原 新さん提供

おぼん(お盆)

昔、インドという国に、お釈迦様という偉い仏様がいました。その弟子であった目蓮という坊さんが、ある日亡くなったお母さんの様子を覚えてもらいました。

ところが、お母さんは、地獄で鬼共にいじめられて、食べるもの飲むものもなく、やせ衰え、可愛想に、皮と骨ばかりになって、大変な苦しみを受けていました。目蓮は、苦しんでいるお母さん

んを見て、大変悲しみました。可愛想で、可愛想で、たまりません。なんとかして、救いたいと思いました。

そこで、お釈迦様に「なぜ、お母さんは、あんなに苦しんでいるのですか、なんとか

して、助けて上げることが出来ないものでしょうか。」と尋ねました。

すると、お釈迦様は「お前のお母さんは、生きているとき、親切でなかった、うそをついた、約束を守らなかった、迷惑をかけた、心配をかけた、のでこのままでは仏になることは出来ないのだ、七月十五日になつたら、供養をしろさい」といわれました。

そこで、七月十五日、目蓮が供えをして、坊さんに、おつとめをしてもらいました。

すると、お母さんの苦しみがなくなりました。

この話がもとでお盆は始まったという事です。

書評

文字全体としてのつりあいも、まだまだ勉強していかなければならないものもあり努力していきたくと考へます。「点」「はらい」「止め」などよく出来ているものがあります。

今後は文字の大きさにも気をつけましよう。しかし「年生の「つゆ」などはすばらしく立派だと思えます。

野原
西目小五年 猿楽めぐみ

野原
西目小五年 猿楽まほ

むかしのこともの

あそび

26

ぼんがま (盆蓋)

盆に、子どもたちだけで、外に石を積んで、かまどを作り、からいもや、よめじよときつなど、初物を持ち寄って煮焚きして食べる。むしろを敷いて、隣近所や、しんじ(親類)しと、く(食う)

シヨロトンボも飛んでくる。

行く処もなく外で迷っている無縁仏に、子ども達が供える遊びである。



みんなの広場

が ん ば つ て
い ま す

入園者が健康であるように。



市内臨本瀬之浦下 (愛和園勤務)
田畑幸子さん(24)

“お互い頑張ろう” 踊りや歌で励ます

臨本身障協会「愛和園」を慰問



踊りを披露する協会員

「お互い障害に負けず頑張っていこう」。臨本地区身体障害者協会の会員が、七月十一日同地区にある「愛和園」を訪れ、踊りや歌を披露し、入園者から大へん喜ばれました。

二回目の慰問には大野澄義さんら二十五人が参加。同園のホールに集まった入園者に「障害に負けることなく一日一日楽しく生きてください」と激励し、さっそく慰問に入りました。

「駒師一代」「マドロスさん」「白頭山節」など踊りや歌、三味線をたっぷり披露しました。



子どもの背高ほどもあるウナギ

ジャンボウナギ

身長1m25、重さ5.7kg

市内鈴木段の太田長義さん(巻)が、七月二十七日の朝、尻無川の用水路で泳いでいるウナギを見つけ、近所の人と二人でタコカギで引つけて捕まえたもので、身長

一メートル二十五センチ、重さ五・七キロ、胴廻り二十八センチもあるジャンボウナギ。太田さんは「尻無川のまじやこげん太かた見たことなか」とびつくり、友人の山下馬場区の松元安秀さんにプレゼント、松元さんが店で飼っていましたが、三十日死に、気味が悪く処分したとのこと。

人 口	
住民基本台帳人口と世帯数 (8月1日現在) (7月1日から)	
人 口	29,594 (+ 32)
男	13,794 (+ 3)
女	15,800 (+ 29)
世帯数	9,893 (+ 9)

ハイ元気だよ



牛ノ浜俊文さんの二男

市内牛ノ浜

牛ノ浜水喜ちゃん(二歳二カ月)

やんちゃでもいいから元気な子に。

祥子さん(お母さん)



園田サキ子さん(32)

園田美雪(9)

おかあさん ありがとう

⑨

市内鶴川内園田

ぼくの母の仕事は、ハウスマイ
かん畑の仕事と赤ちゃんのせわです。
みかん畑の仕事は、葉かけ、てっ
果、みかんちぎり、つき木などが
あります。葉かけは、暑い夏に、
あついかっぱを着て、マスクをは
めて、父と一しよに広いみかん畑
に葉をかけます。暑くてたまらな
いけど母はがんばります。
家に帰ったら赤ちゃんのせわで
とてもいそがしいです。ぼくは、
こんなに働いている母をみて「あ
りがとう」といつも思っています。



大島を出発。元気に泳ぐ子どもたち

行事・催し物など、どしどしお寄せください。

③1211内214 おまちしています。

大島から泳いだよ、 子どもたち初の快挙

大島～五色浜間遠泳

「つかれたけどうれしい」「思
い出になる」。七月二十一日、子
どもたちによる阿久根大島からB
アンドG艇庫までの遠泳大会が行
われ、参加した全員が見事に完泳

し、父兄らの拍手を受けました。
遠泳大会は「海の旬間」記念行
事の一つとして行ったもので、参
加したのはBアンドGプールでの
水泳教室生、男子二十九人、女子

二十人の四十九人でほとんど小学
生。BアンドG艇庫で開会式が行
われ、新担任役らが「完泳を目指
して頑張ってください」と激励。
午前十時二列になって大島をス
タート。この日は波もなくなぎで
絶好の遠泳日和、子どもたちはお
互い励まし合い、うまく潮に乗っ
て泳ぎ、約一時間三十分でゴール
の艇庫に全員到着しました。

三地区(全長島町、
牛深市、阿久根市)大会

阿久根が優勝

第三十三回三地区(全長島町、
牛深市、阿久根市)親善体育大会
は、七月二十八日、東町で行われ、
阿久根市からも十五種目(うちオ
ーブン三種目)に百八十人の選手
が参加し、親睦を図りながら熱戦
を繰りひろげ、剣道、弓道、庭球、
男女バレーボールなどが優勝、総
合で二十九点をあげ、牛深市をふ
り切って優勝しました。



お知らせ

被爆者健康手帳の 交付申請について

県では、広島市、長崎市で被爆された方々に対し、被爆者健康手帳を交付しています。また、手帳をもっていない人は申請してください。

務課（〒892 鹿児島市山下町千四一五）☎0992268111 内線2514 または最寄りの県保健所へお問い合わせください。

年金相談日

毎月二十日

（休日の場合は翌日になります）

国民年金協会

家庭看護講習会の案内

9月26・27日

8月は年金証書の提出月

八月は、福祉年金を受けている人が、国民年金証書を提出する月です。

年金の八月支払い分（四月～七月の四か月分）を受け取ったら、国民年金証書をすみやかに市の国民年金係へ提出してください。

家庭での病気の予防や、看護の心得、看護の方法について講習会を行います。

病人の世話について、正しい方法を身につけ、いつでも活用できるようにするための講習です。

受講希望者は八月末日までに、保健センター（三・三七六八）

へ直接申し込んでください。

▽日時 九月二十六日（木）

午後一時から四時

九月二十七日（金）

午前九時から十二時

▽場所 保健センター

▽受講料 三〇〇円（テキスト代）

社協だより

次のかたがたから、香典返しとして、市社会福祉協議会に寄付がありました。ありがとうございます。

（敬称略）

若松清高（牛之浜） 松水重義（同）

花木徳海（的場） 寺地辰男（尻無上）

川俣義則（折口東） 飛松作之丞（飛松）

尾上九州男（同） 山崎力（長野）

貴島敏守（波留） 落合智（脇本浜）

古川タマエ（同） 濱崎健三（上野）

松屋愛子（同） 平国富義（横手）

宮原幸夫（深田） 野畑ミネ子（浦）

小牟田伸二（倉津） 濱嶋水喜（牟田）

▽篤志寄付 味福栄サカエ様

▽図書、書籍を寄付

市内大丸町の林七郎さんより、ブックセンターオーブン記念として、市の図書館に図書、書籍 十

万円相当の寄付がありました。

消防

ミニニュース

（ ）は一月から七月まで

七月の火災発生数 0 (13)

救急車出動回数 74 (399)



○七月二十一日、子どもたちによる大島からの遠泳もあり、取材しました。私の心配をよそに全員無事完泳しました。ゴールにくく子どもたちのうれしそうな表情が目頭しらがあつくなりました。全員にあらためて「おめでとう」をいいます。

夏に頑張った子どもたちよ、今度は秋、冬にまた頑張ろう（哲）

7月の市内交通事故

	()は前年	累計 1月から7月まで
発生件数	15 (7)	75
死亡者数	0 (1)	0
傷者数	27 (6)	113

給油所の日曜当番店

- 8月18日 寺下石油 (脇本) ⑤2077
- 8月25日 阿久根石油 (脇本) ⑤0038
- 9月1日 落合石油 (脇本) ⑤0055

ワンちゃんの引き取り

9月3日・12日 午前10時～10時半 保健センター

昭和六十年八月十日 鹿児島県阿久根、見町二〇〇番地阿久根市役所編集発行

編集後記

八月……残暑お見舞申しあげます。

今年の夏はスポーツを通して多くの子どもたちと接する機会に恵まれ、少し中年入りした私の体も心も大いに鍛えられました。子どもたちは元気ですね、カンカン照りの炎天下でもへこたれずに、水泳、ソフトボール、バレーボールなど一生懸命頑張っている。夏休みに思い切りハッスルしている姿に、うらやましさを感じたものでした。

それにしても夏休みは行事の多いこと、区行事から地区、そして市行事と息つくひまもないほどの行事ラッシュ。これでは子どもたちもですが、世話をしている大人がバテるのじやないかと心配しています。夏休み中心の行事の再考を期待したい。